****

**2022**

開催要綱

１　開催目的　「縄文の炎」は、祭りを地域振興につなげようと住民、地域、行政が協働で挑んできたまちづくりの「炎」である。文化創造、文化発信、文化交流を通じ、藤沢地域の一層の発展に資する。

２　開催期日　　2022年８月13日㈯、14日㈰

３　会　　場　　藤沢運動広場「特設縄文村」（一関市藤沢町藤沢字仁郷41）

４　祭の構成

　⑴ 縄文野焼

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ８月13日㈯ | 13:00～15:00 | 参加作品受付 |
|  | 15:00～17:00 | 作品窯入れ |
|  | 18:00～18:30 | 火入れの儀、開会式 |
|  | 18:30～21:30 | イベント、縄文野焼 |
|  | 23:00頃 | 火止め |
|  | ＊窯の状況により前後する場合あり |
| ８月14日㈰ | 7:30～8:30 | 作品窯出し、審査会場へ移動 |
|  | 9:00～10:30 | 作品審査 |
|  | 11:00～12:00 | 表彰式 |

　⑵ 縄文の祭・縄文の食

　　 縄文踊り（藤沢野焼祭実行委員会創作）、縄文料理

　⑶ イベント

　　 二日町祭神太鼓、縄文ラッフルチケット抽選会・・・景品：地元特産品等

　　 ※ラッフルチケット：１枚100円で販売(1,000枚)

５　関係機関、団体

　⑴ 主催

　　 藤沢野焼祭実行委員会

　⑵ 共催

　　 一関市／一関市教育委員会／一関商工会議所／いわて平泉農業協同組合／一関市観光協会／藤沢町住民自治協議会／藤沢町芸術文化協会／一関市食生活改善推進員協議会藤沢支部／藤沢町女性組織連絡会議／一関市老人クラブ連合会藤沢支部／藤沢町工業倶楽部／藤沢町体育協会／藤沢岩手ライオンズクラブ／藤沢焼粉香木窯／Ｊスタッフ協議会／社会福祉法人ふじの実会（ふじの実学園、第二ふじの実学園、ワークジョイふじの実）／新沼保育園、藤沢こども園・黄海こども園／新沼小学校、藤沢小学校、黄海小学校、藤沢中学校／藤沢町ＰＴＡ連合会／藤沢陶芸教室

　⑶ 後援

　　 岩手県／岩手県教育委員会／岩手日報社／岩手日日新聞社／河北新報社／朝日新聞盛岡総局／読売新聞盛岡支局／毎日新聞盛岡支局／産経新聞盛岡支局／ＮＨＫ盛岡放送局／ＩＢＣ岩手放送／テレビ岩手／めんこいテレビ／岩手朝日テレビ／エフエム岩手／ＩＣＮ一関ケーブルネットワーク／一関コミュニティＦＭ

　⑷ 協賛

　　 市内外企業、団体

６　１家族１作品運動の推進

　⑴ 個人又は家族で制作し、参加する運動を展開する。

　⑵ ファミリー枠を設け、優秀作品には「ファミリー賞」を授与する。

７　熱陶甲子園の開催

1. 全国の高校生を対象に陶芸の甲子園「熱陶甲子園」を開催する。
2. 出品作品は、個人でも、共同でも可とする。
3. 大会の様子をSNSなどで情報を発信した方、全員に食事券をプレゼントする。

８　作品の申し込みと粘土の販売

|  |  |
| --- | --- |
| 参加(出品)料 | 無料 |
| 申し込み | 事前に申し込む |
| 受付期間　2022年７月１日(金)～29日(金) |
| 申し込み先　藤沢野焼祭実行委員会事務局　　　　　　〒029-3405　岩手県一関市藤沢町藤沢字町裏187　（一関市役所藤沢支所産業建設課内） |
| 粘　　土10㎏単位で販売、送料は別 | 市　　内在住の人 | 児童・生徒・学生 | 800円／10㎏ |
| 一般 | 1,000円／10㎏ |
| 市　　外在住の人 | 児童・生徒・学生 | 1,000円／10㎏ |
| 一般 | 1,500円／10㎏ |
| 販売開始 | ６月20日(月) |
| 販売終了 | ７月22日(金) |
| 販 売 先 | 藤沢野焼祭実行委員会事務局〒029-3405　岩手県一関市藤沢町藤沢字町裏187（一関市役所藤沢支所産業建設課内） |

９　審査と表彰

⑴ 藤沢野焼祭

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 審査委員(予定)審査委員選考委員会で決定 | 審査委員長 | 金子　賢治（茨城県陶芸美術館館長） |
| 副審査委員長 | 辻　けい（東北芸術工科大学教授） |
| 特別審査員 | 佐藤　陽子（音楽家） |
| 審査委員 | 塩野　毅（塩野半十郎氏の孫） |
| 村田　とも子（盛岡大学短期大学部非常勤講師） |
| 本田　健（画家） |
| 本間　伸一（陶芸家） |
| 及川　健夫（洋画家） |
| 表　　彰 | 塩野半十郎大賞　 | １点／賞金10万円と賞状、副賞（楯） |
| 一関市長賞 | １点／賞金１万円と賞状、副賞（楯） |
| 岡本太郎賞 | １点／賞金１万円と賞状、副賞（楯） |
| 池田満寿夫賞 | １点／賞金１万円と賞状、副賞（楯） |
| 辻清明賞 | １点／賞金１万円と賞状、副賞（楯） |
| 金子賢治賞 | １点／賞金１万円と賞状、副賞（楯） |
| リチャード・スタウビッツ賞 | １点／賞金１万円と賞状、副賞（楯） |
| 縄文野焼賞 | ５点／賞状、副賞（楯） |
| 各団体賞 | 14点／賞状、副賞1. 県南広域振興局長賞②藤沢町住民自治協議会長賞③藤沢町芸術文化協会長賞④いわて平泉農業協同組合長賞⑤一関市観光協会長賞⑥一関市老人クラブ連合会藤沢支部長賞⑦藤沢町工業倶楽部会長賞⑧一関商工会議所会頭賞⑨岩手日報社賞⑩岩手日日新聞社賞⑪河北新報社賞⑫藤沢町女性組織連絡会議会長賞⑬藤沢・岩手ライオンズクラブ会長賞
 |
| 優秀賞 | 約50点／賞状 |
| ファミリー賞　  | 5点／賞状、副賞 |
| スポンサー賞 | 各１点／賞状、副賞＊前回2019大会は、館ヶ森アーク牧場賞と岩手サファリパーク賞、館ケ森高原ホテル賞、フジテック岩手賞、小野産業賞の計５点。 |
| 一般投票みんなが選ぶのやき賞 | ２点／賞状、副賞 |
| 受賞作品の展示 | 塩野半十郎大賞から縄文野焼賞までの作品は、第46回大会（2023年８月）までの１年間、実行委員会で保管・展示し、広く公開する |

⑵ 熱陶甲子園 in Fujisawa 2022（地域おこし事業(元気な地域づくり事業分））

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 審査委員(予定) | 審査委員長 | 金子　賢治（茨城県陶芸美術館館長） |
| 副審査委員長 | 辻　けい（東北芸術工科大学教授） |
| 審査委員 | 本田　恵美（画家） |
| 本間　文江（陶芸家） |
| 表　　彰 | 優勝 | １点／QOUカードまたはアマゾンギフト券3万円分と賞状 |
| 準優勝 | １点／QUOカードまたはアマゾンギフト券1万円分と賞状 |
| 第３位 | ２点／QUOカードまたはアマゾンギフト券7千円分と賞状 |
| ベスト８ | ４点／QUOカードまたはアマゾンギフト券5千円分 |
| ベスト16 | ８点／QUOカードまたはアマゾンギフト券3千円分 |

10　制作指導会

次のとおり制作指導会を開催する

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日程と会 場 | 藤沢会場 | 陶芸センター | 6月25日㊏、26日㊐ |
| 講　師 | 本間伸一氏、畠山裕一氏、本間文江氏 |
| 費　用 | 500円／1人（粘土代は別） |

11　フォトコンテストの開催

 ⑴ 写真の部

|  |  |
| --- | --- |
| テーマ | 縄文 |
| 応　　募 | 期　間　2022年８月19日(金)～９月20日(火) |
| 資　格　制限なし |
| 点　数　１人５点まで |
| 賞 | 特　選　１点（8千円相当の一関市藤沢町特産品） |
| 準特選　２点（6千円相当の一関市藤沢町特産品） |
| 入　選　７点（3千円相当の一関市藤沢町特産品） |
| 作品規定 | ・祭り当日の写真だけでなく、縄文を象徴する街や人の風景、縄文を生かした取り組みなど、幅広い視点から募集する・モノクロまたはカラー写真・サイズは六つ切り～ワイド四つ切りの単写真・銀塩、デジタルを問わない・日付けが入らないもの・作品の裏面に応募票を貼付し、実行委員会まで申し込む・応募作品は返却しない・入賞作品の版権は、主催者に帰属する・個人を特定する写真を出品する場合は、撮影時に使用許可を得ること |

　⑵ スマートフォンの部

|  |  |
| --- | --- |
| テ ー マ | ⑴写真の部と同じ |
| 応　　募 |
| 賞 |
| 作品規定 | ・祭り当日の写真だけでなく、縄文を象徴する街や人の風景、縄文を生かした取り組みなど、幅広い視点から募集する・カラー画像・写真データを野焼祭公式webサイトの「フォトコンテスト」ページへ投稿・入賞作品のデータ権は、主催者に帰属する・個人を特定する写真を出品する場合は、撮影時に使用許可を得ること |

12　実行委員会事務局

　　〒029-3405岩手県一関市藤沢町藤沢字町裏187番地（一関市役所藤沢支所産業建設課内）

　　☎ 0191-63-5317／Fax 0191-63-5133／電子メール hujisanken@city.ichinoseki.iwate.jp